

# 「令和3年産水陸稲の収穫量（管内）」12月8日公表の補足資料

関東農政局統計部

## 【茨城県の概要】

### 1 水稲

(1) 茨城県における令和3年産水稲の作付面積（子実用）は6万3,500haで、前年産に比べ4,300ha減少した。

また、主食用作付面積は6万1,400haとなった。

(2) 全もみ数（穂数×1穂あたりもみ数）は、穂数が平年並み、1穂あたりもみ数がやや多いことから「やや多い」となり、登熟は、6月から7月にかけて天候が良く出穂が早くなり、登熟期間が長くなったことから「やや良」となった。

(3) この結果、茨城県の10a当たり収量は543kgで、前年産に比べ12kg増加した。

また、作柄表示地帯別では、北部で北部で542kg（前年産に比べ15kg増加）、鹿行で547kg（同16kg増加）、南部で540kg（同9kg増加）、西部で544kg（同8kg増加）となった。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.85mm）で選別された茨城県の作況指数は103となり、作柄表示地帯別では、北部及び鹿行で104、西部で103、南部で102となった。

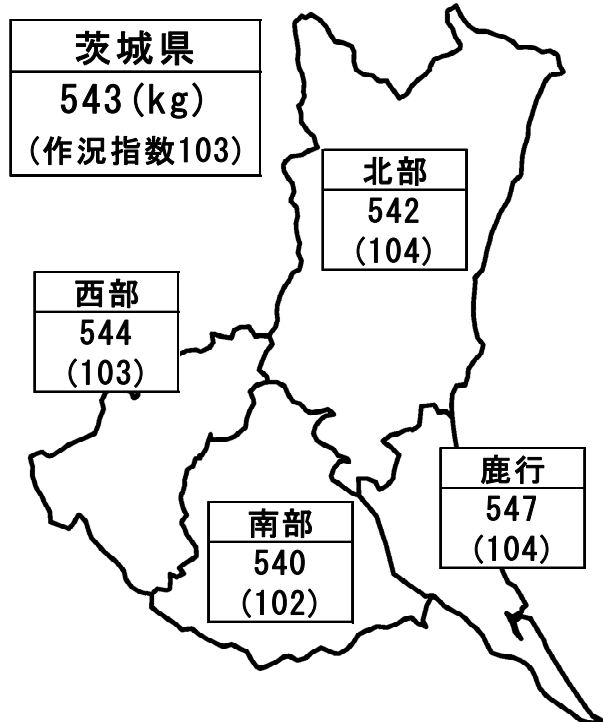
(4) 以上のことから、収穫量（子実用）は34万4,800tで、前年産に比べ1万5,200t減少した。

また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は33万3,400tで、前年産に比べ1万4,400t減少した。

### 2 陸稲

令和3年産陸稲の作付面積（子実用）は402haで、前年産に比べ45ha減少し、収穫量（子実用）は969tで、前年産に比べ131t減少した。

図 水稲の作柄表示地帯別  
10a当たり収量及び作況指数

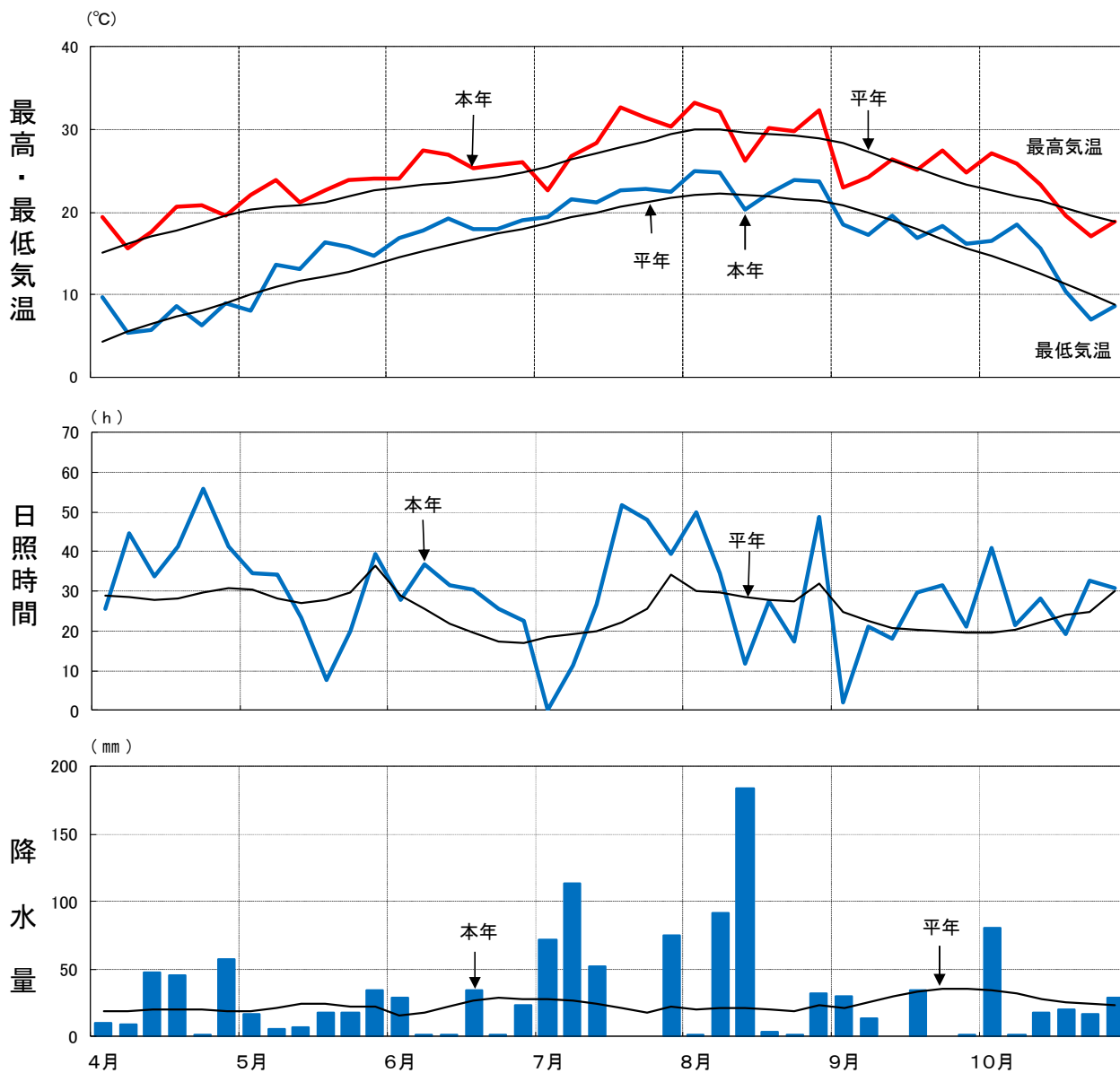


○ この資料は、「令和3年産水陸稲の収穫量（管内）」12月8日公表の補足資料として作成したものです。

詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [https://www.maff.go.jp/kanto/to\\_jyo/](https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/) 】

## 令和3年 半旬別気象（水戸）



資料：気象庁



注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。  
 なお、( )内は、平年との遅速（日数）を示す。

### お問合せ先

◎本統計調査結果について  
 関東農政局 茨城県拠点 統計チーム  
 電話：029-231-2266  
 F A X：029-227-1535